

# 公開講座レター

No.1



平成 24 年度から、公開講座の取り組みを広く知っていただくため、実施した公開講座の様子や、参加者の声などを定期的にお届けする、「公開講座レター」を作成し、配付することになりました。

創刊号となる今回は、5月に実施された公開講座「原発とは結局なんだったのか?」、「国際交流と市民活動」の様子をお届けします。

|     |                            |             |  |
|-----|----------------------------|-------------|--|
| 講座名 | 原発とは結局なんだったのか ―いま福島で生きる意味― |             |  |
| 開催日 | 5月10日(木)                   | 18:30~20:30 |  |
| 講師  | 経済経営学類教授 清水 修二             |             |  |

## 講座の概要

東日本大震災から一年以上経過した今、やはり放射線や原発に対する市民の関心は高く、地域創造支援センターが開講する公開講座の中でも最も申込者数の多かった本講座。

講師の清水先生は一年前に訪問したチェルノブイリの調査結果をもとに、災害情報の取り扱い方や居住制度など、福島第一原子力発電所の事故との違いを中心に説明されました。

原発や放射線に関するフォーラムや講演会等は、これまでもいろいろな団体が実施されてきましたが、大学の公開講座として開催することにより、市民の皆さんにより近づいて情報を発信できたのではないのでしょうか。

受講者のみなさんも熱心に話に聞き入っていました。

## 申込者層

| 性別<br>年代 | 男性 | 女性 | 総計 |
|----------|----|----|----|
| 20代      |    | 1  | 1  |
| 30代      | 1  | 5  | 6  |
| 40代      | 4  | 5  | 9  |
| 50代      | 2  | 7  | 9  |
| 60代      | 2  | 4  | 6  |
| 70代      | 6  |    | 6  |
| 不明       | 1  |    | 1  |
| 総計       | 16 | 22 | 38 |

| 性別<br>職業 | 男性 | 女性 | 総計 |
|----------|----|----|----|
| 会社員      | 5  | 11 | 16 |
| 学生       |    | 1  | 1  |
| 教員       | 1  |    | 1  |
| 公務員      | 1  |    | 1  |
| 自営業      | 2  | 2  | 4  |
| 主婦       |    | 5  | 5  |
| その他      | 4  | 3  | 7  |
| 無職       | 3  |    | 3  |
| 総計       | 16 | 22 | 38 |

## 参加者の声

- ・ 原発の問題がおぼろげながら分かるようになりました。新聞やTVでは表面的な良く分からないが、今回のお話は良く分かりました。
- ・ 普段、友人と話している不安や不満を、このような原発の問題を研究している先生に肯定していただけたように思い、少し安心しました。
- ・ 子どもたちをどう守るか、本当に福島に住んでいて大丈夫なのか、人それぞれの意見はあると思いますが、慣れてしまってはいけないと思います。
- ・ 色々な方に、今回受講した講座を聞かせたいと思いました。

## 講座の様子



**講座名**

国際交流と市民活動 ～人と人とのつながり～

**開催日**

5月12日（土）、19日（土）、26日（土）、6月2日（土）

13:30～15:00

**講師**人間発達文化学類教授 鈴木 裕美子、福島大学非常勤講師 林 由美子、  
NPO 法人ふくかねっと理事 鈴木 賢司、福島大学非常勤講師 藍原 寛子**講座の概要**

東日本大震災は、日本国内だけでなく、海外在住の日本人、そして外国の方々にも大きな衝撃を与えました。海外にいる日本人もまた、自分たちも何かできることはないかと行動してきました。この講座ではそうした活動を紹介するとともに、外国の文化と日本の文化との違い、そして国際交流の在り方について、みんなで語らいながら学びました。講師が一方向的に話すだけでなく、受講者のみなさんの経験談なども紹介しあうなど、フレンドリーな空気に包まれた講座となりました。

**各回の内容**

- 5/12 アメリカ、フィリピンのボランティア団体とその活動内容や募金活動などの紹介の他、参加者のボランティア経験などが紹介されました。（藍原先生）
- 5/19 鈴木賢司先生の自己紹介と『ふくかねっと』の活動内容について紹介しました。また、韓国の歴史や日本と韓国の文化の違いなどについてお話されました。（鈴木賢司先生）
- 5/26 オーストラリアとの交流のきっかけとこれまでの主な活動内容（国際結婚と子どもたちを支援）の報告がありました。また震災後のオーストラリアからの支援や援助について紹介されました。（林先生）
- 6/2 これまで訪問した数々の国の中から、パキスタンとスウェーデンを訪問した際の体験報告のあと、講座に参加しての感想や意見を受講者全員で話しあいました。（鈴木裕美子先生）

**講座の様子****参加者の声**

- ・庶民文化を知ることは旅行では味わえないので、今回のような報告は良かった。講義型ではないのもまた親しみがあるので成功と思う。活動している方たちが楽しんで活動しているので伝わりも濃い。
- ・「講座」という講師からの一方通行なのかと思っていたが、受講生からも意見を言うことができるというのはとても素晴らしいと思いました。
- ・市民レベルで活動しているみなさまの報告を聞いて、自分も生活の中でできる国際交流

について考え、行動していきたいと思いました。

・人の絆の尊さとそれを国境を越えてつなげ、さらに大きな成果を生み出していることに感銘を受けました！ぜひ継続発展させていっていただきたいプログラムだと思います。